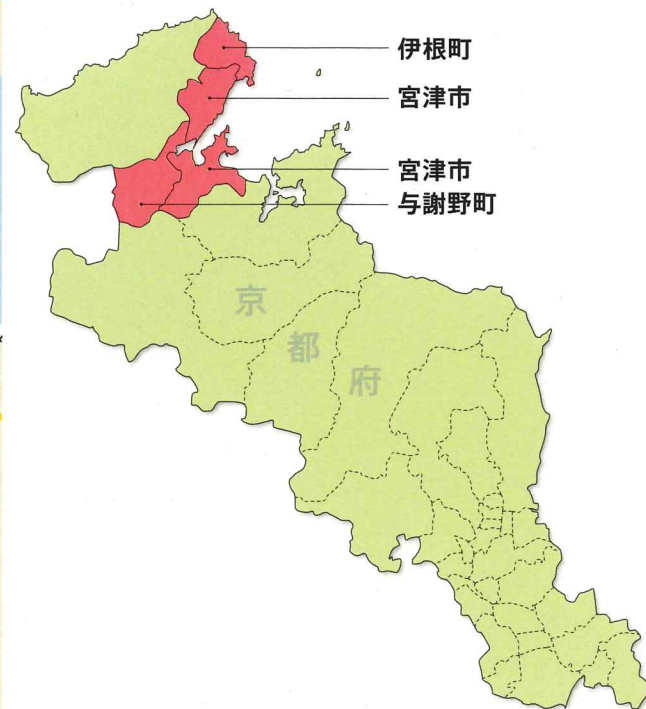


施設案内図



宮津与謝クリーンセンター

〒629-2251 京都府宮津市字須津32番地
Tel. 0772-46-1153 / Fax. 0772-46-0054

Reduce リデュース 減らす

買い物の際にレジ袋をもらわない。
無駄なものを買わない。
食べ物を残さないようにしましょう。

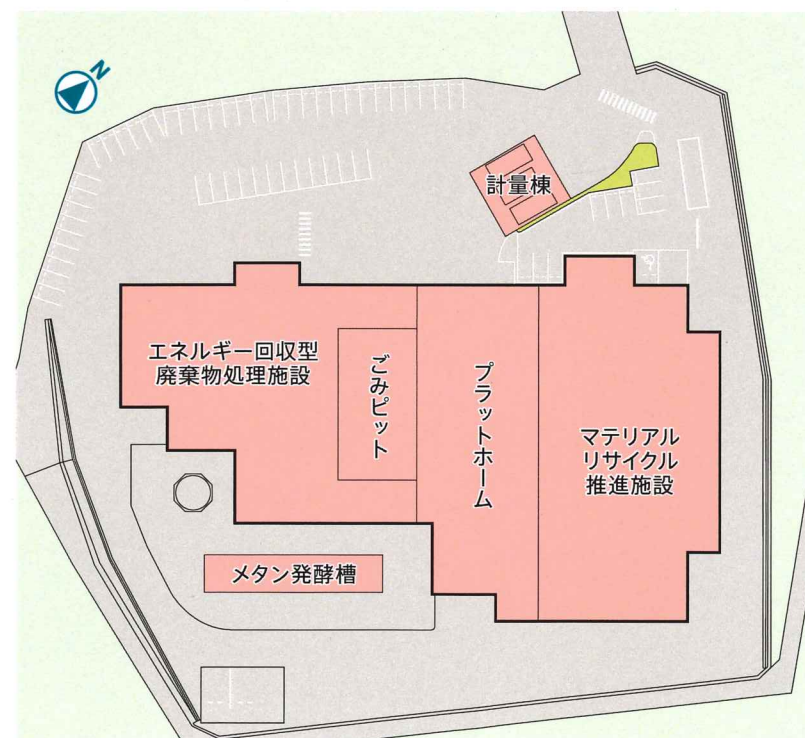
Reuse リユース 再び使う

いらなくなった物をすぐに捨てないで
修理したり、リサイクルショップへ
持ち込みましょう。

Recycle リサイクル 再資源化

ごみをちゃんと分別しましょう。
缶類・ペットボトルなどは洗って、
汚れを落としてから出しましょう。

施設配置図



事業主体

宮津与謝環境組合

〒629-2251 京都府宮津市字須津32番地
Tel. 0772-46-2111 / Fax. 0772-46-2117

施工監理

株式会社東和テクノロジー

〒730-0803 広島県広島市中区広瀬北町3-11
Tel. 082-297-8700

設計・施工

タクマ・金下特定建設共同企業体

TAKUMA 株式会社タクマ

〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
Tel. 06-6483-2609

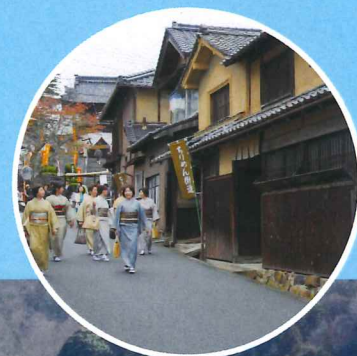
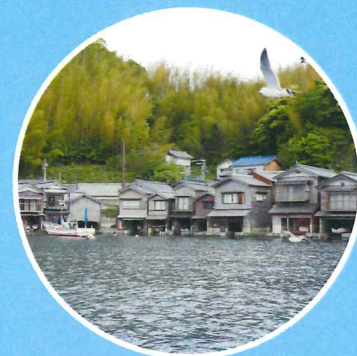
金下建設株式会社

〒629-2251 京都府宮津市字須津471番地の1
Tel. 0772-46-3151

宮津与謝

MIYAZU-YOZA CLEAN CENTER

クリーンセンター



宮津与謝環境組合

宮津与謝クリーンセンターの概要

ごあいさつ



管理者(宮津市長)
城崎 雅文



副管理者(伊根町長)
吉本 秀樹



副管理者(与謝野町長)
山添 藤真

宮津与謝地域(宮津市・伊根町・与謝野町)は、京都府の北部に位置し、日本三景の特別名勝「天橋立」を有し自然と文化に恵まれた地域です。

当地域では平成14年からごみの広域処理を開始し、可燃ごみは宮津市清掃工場、資源ごみの一部は宮津市リサイクルセンターで処理をしてきました。

しかし、宮津市清掃工場は竣工から20年以上が経過し、老朽化への対応と時代に応じた新しい施設への整備を進める必要から、平成25年に当地域の1市2町が事務を共同処理する「宮津与謝環境組合」を設立し、新たな広域ごみ処理施設の建設に取り組んでまいりました。

このたび完成した本施設は、「エネルギー回収型廃棄物処理施設」と「マテリアルリサイクル推進施設」で構成しています。

「エネルギー回収型廃棄物処理施設」は、公害防止に十分留意するとともに、環境にやさしい施設を目指し、循環型社会・低炭素社会を形成する施設として、可燃ごみから生ごみ、紙ごみ等を選別しメタンガスを発生・回収して発電する設備と、可燃残渣を焼却する設備を兼ね備えています。

一方、「マテリアルリサイクル推進施設」は、分別収集された資源ごみを圧縮・梱包し再資源化します。また、破碎・選別設備により大型ごみや不燃ごみから資源物の回収を図るとともに、破碎可燃物の焼却により埋立処分量の削減を図り最終処分場の延命化に寄与します。

今後は、当地域で日々発生する廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上、地球温暖化ガスの排出削減等、循環型社会形成に大きく貢献できることが期待できます。

本施設の建設にあたり、深いご理解とご協力をいただきました地元関係者の皆様をはじめ、ご支援を賜りました京都府並びに国の関係機関の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、今後のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和2年6月

施設の特徴

環境保全に万全を期した施設

- ◎ 燃えやすいごみと燃えにくいごみを分けて処理するため、焼却するごみ量の削減と環境負荷の軽減がはかれます。
- ◎ 生ごみ、湿った紙類などの燃えにくいごみからメタンガスを取り出し、エネルギーの効率的な活用が可能であり、ストーカ施設単体に比べてエネルギー回収量、温室効果ガス削減量が大きくなります。
- ◎ 煙突から排出される排ガスには、法令による規制値より厳しい排ガスの公害防止基準値を設定し、これを遵守した運転を行うことで、ダイオキシンなどの有害物質を除去し、周辺の環境を保全します。
- ◎ メタンガス化施設で出る発酵残渣は脱水後、固形物は焼却処理、分離水はメタンガス化施設への加水、排水処理施設で焼却施設汚水とともに処理し、焼却施設の冷却水として再利用するため、施設内から発生する排水は外部に排出しません。

資源を有効活用する施設

- ◎ メタンガスによる発電および電力の固定価格買取制度(FIT制度)を活用した売電を行うことで、維持管理費を削減できます。
- ◎ マテリアルリサイクル推進施設で処理される不燃ごみや大型ごみから、鉄類やアルミ類を資源物として回収し、リサイクル率の向上を図ります。
- ◎ びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙製容器包装、発泡スチロールの中間処理を行い、資源物としてリサイクルします。

施設概要

- 事業主体：宮津与謝環境組合
- 構成市町：宮津市、伊根町、与謝野町
- 施設名称：宮津与謝クリーンセンター
- 所在地：京都府宮津市字須津32番地
- 事業方式：DBO方式
(Design:設計、Build:施工、Operate:運営)
- 事業期間：工事期間／2016年4月～2020年6月
運営期間／2020年7月～2040年2月
- 敷地面積：20,838㎡
- 建築面積：5,287㎡
- 建物高さ：31.5m(煙突高さ 45m)

設備概要

エネルギー回収型廃棄物処理施設

【ごみ焼却施設】

- 処理方式：全連続燃焼式焼却炉(ストーカ方式)
- 処理能力：30t/24h
- 処理対象物：燃やすごみ(燃えやすいごみ)

【メタンガス化施設】

- 処理方式：乾式メタン発酵方式
- 処理能力：20.6t/24h(基準ごみ)
- 処理対象物：燃やすごみ(燃えにくいごみ)
- 発電設備：ガス発電機(270kW)

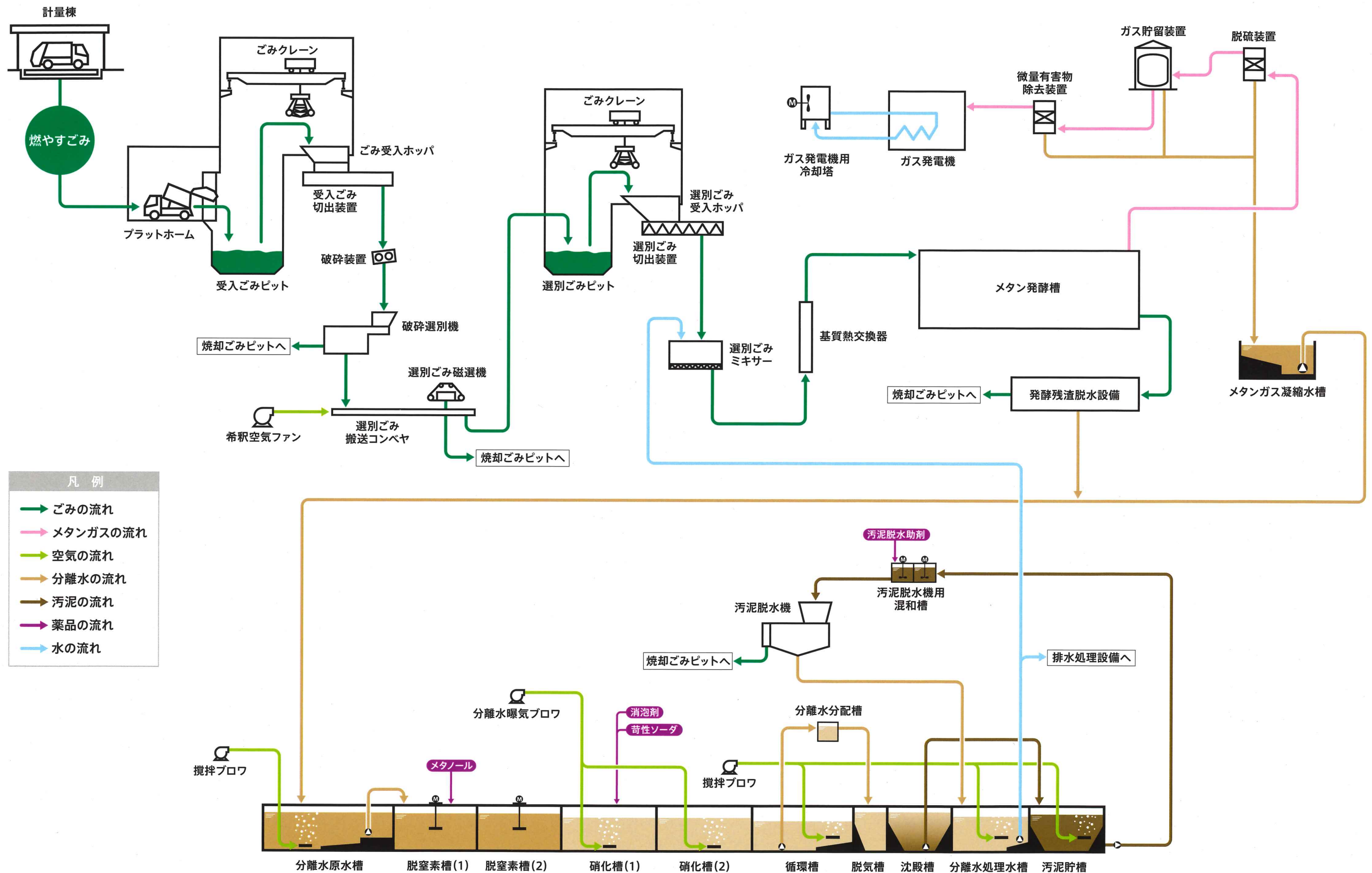
マテリアルリサイクル推進施設

- 処理能力：14.9t/5h
- 処理対象物：不燃ごみ、大型ごみ、びん、かん、
ペットボトル、プラスチック製容器包装、
紙製容器包装、発泡スチロール、有害・危険ごみ
紙パック、新聞、雑誌、段ボール



エネルギー回収型廃棄物処理施設

[メタンガス化施設 処理の流れ]



エネルギー回収型廃棄物処理施設

[ごみ焼却施設 処理の流れ]

